

列聖省アントン・ヴィットヴェル神父、高槻来訪 6月25日



上：ヴィットヴェル神父一行、濱田市長、
ダニエル神父と信徒の皆さん

右：ヴィットヴェル神父、濱田市長
いずれも右近像の前で



高山右近の福者認定をローマ法王庁に申請した日本カトリック司教協議会の代理人である、列聖省のヴィットヴェル神父が、6月25日午後、高槻教会を訪問されました。当日の午前中に、右近生誕の地である摂津国高山があった大阪府豊能町を視察訪問された後のことです。

濱田高槻市長が会食に参加

高槻教会に到着されたヴィットヴェル神父ご一行はすぐに聖堂でミサをあげられ、その後右近会館で昼食を取られました。この会食には濱田市長も参加されました。濱田市長がルイス・フロイスの日本史12巻を読破され、カトリック布教の歴史と高槻市ゆかりの高山右近に深い造詣をお持ちだということから会食にお招きしたところ、繰り合わせて参加されたものです。会食終了後ヴィットヴェル神父のご希望で、ミサに参加されていた信徒の皆さんが神父を囲んで親しくお話をする機会を得ました。

午後2時半、次の予定訪問先である「しろあと歴史館」へ向かわれましたが、今は非公開となっている木棺やロザリオが神父のために特別展示されました。

次に城跡公園の右近像を見学された後、それまでは時間短縮のためすべて車での移動でしたが、高槻教会までは歩きたいと思われた神父が徒歩で教会へ戻られました。

約20分予定を超えて滞在された後、次の訪問地である京都へ向かわれました。

